



かけはし

岩国市立錦中学校だより 第7号

令和5年(2023年) 7月11日(火)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



「感謝」「反省」そして「敬意」！！

もう7月中旬、時が経つのは本当に早いですね。1学期に「な怠りそ」「そわか」「後悔より反省」などを「明日の元気のために(掲示物)」でみんなに訴えてきました。記憶に残っていますか。もうすぐ、1学期が終わります。授業でもそうですが、「振り返り」がとても大切になってきます。これから様々な場面で今学期を振り返る機会が多くなってくるとは思いますが、次の視点も加えて振り返ってみてほしいと思います。

『家族や友だちに「ありがとう」「ごめんなさい」そして、「はい」を日頃どれだけ心の底から自分の言葉と笑顔で』言えているでしょうか。

自分の心・言葉・態度で、お互いが「敬意」を払いながらコミュニケーションをとる。心と心でキャッチボールをして、「心の潤い」を育て合うことが大切なのではないでしょうか。

キーワードは『「感謝」「反省」そして「敬意」』です。

地域のことをもっと知る必要がある～錦川清流線について考えました～



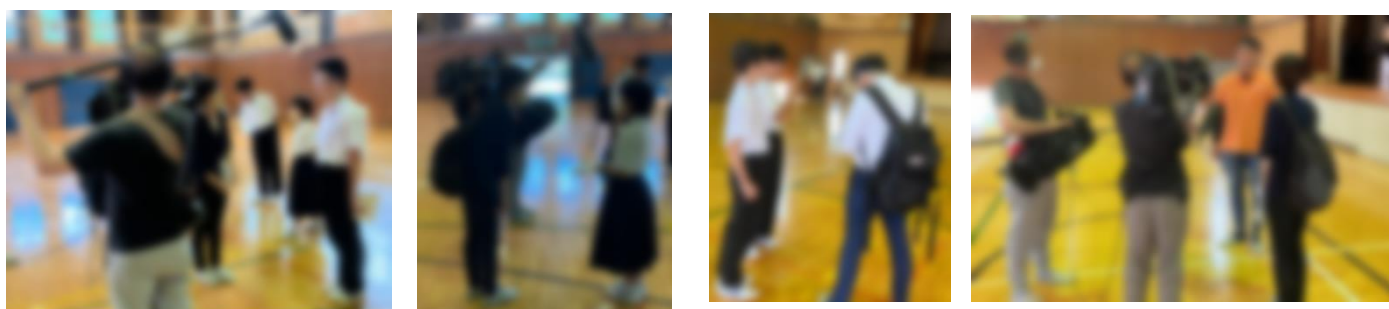
7月3日(月)の月頭集会に「錦川清流線を育てる会」の堀江会長、「錦川鉄道株式会社」の廣田社長、「やましろ商工会青年部」の堀江さんをお招きしました。

堀江会長からは旧国鉄岩日線が廃止の危機に直面し、地元住民の熱意から第三セクターの鉄道として引き継がれた経緯、廣田社長から現在赤字である経営状況を打破するために行っている企業努力、堀江さんから岩国市が清流線の今後の在り方を検討している現実、そして、先哲から受け継いできている清流線を守り抜いていきたいという熱い思いを語っていただきました。

地域を盛り上げていくためには、「自分たちが地域のことをもっと知る必要がある」という5月の熟議で出てきた錦中生の熱い思いから今回の企画が生まれました。

地域の大人の熱い思いに触れた錦中生、地域の宝を守るために、自分たちが今できることを考え、行動していきましょう！やればできる！君たちならできる！

インタビューに見事に対応していました！



7月3日(月)の月頭集会において、KRYと中国新聞からの取材がありました。KRYのインタビューに、3年生の河林さんと2年生の藤原さんが、中国新聞のインタビューに3年生の原田さんと近藤さんが答えました。臆することなく、見事に対応し、地域への思いを語る姿に感心していました。

7月5日(水)の中国新聞に原田さんと近藤さんのコメントが掲載されていますので、紹介します。

清流線がないと高校の通学に困る。現状を知れて良かった。自然豊かな沿線の魅力を発信する方法を考えたい。【原田さん】

地域の思いで支えられている。利用促進に向けたイベントを手伝いたい。【近藤さん】

自分たちが今できることを考え、行動に移そうという姿がみられることをうれしく思います。夏休みが近づいています。夏休みに何かできることはないのかを、少しでもいいので、考えてみませんか。私も考え、行動に移そうと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、お願いが3つあります

1つ目は岩国地区校長会からアンケートのお願いです。コロナ禍により、子どもから高齢者まで、健康・体力について様々な課題が出ていることは、ご承知のことと存じます。

そこで、岩国地区の中学生と大人の実態を把握するため、アンケートへの協力をお願いします。アンケート22項目、回答所要時間は5分程度です。アンケート集計結果等につきましては、今後、学校のホームページ等で情報発信していきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2つ目は、7月15日(土)16:00からグラウンド・校舎周辺の「草刈り・剪定作業」を行います。草刈り機や剪定ばさみ、草けずり等をお持ちの方はご持参してください。9月24日(日)小中合同体育祭に向けて、会場準備を進めていきたいと思っております。多くの参加をお待ちしています。

3つ目はホームページの閲覧についてです。子どもたちの学校での様子、毎日の給食など、情報発信を今まで以上に行っていきます。毎日1回ご覧いただくとありがたいです。

今後も錦中学校の教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

岩国地区校長会 健康教育推進委員会 アンケート(運動・スポーツ分野)

